

第2回地域夢・未来カフェ in 牧の台

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、第1回に引き続き、「第2回地域夢・未来カフェ in 牧の台」が開催されました。

日時：2012年11月29日（木）10:00～12:00

場所：大和第1自治会館

参加人数：市民21名＋市WGメンバー2名

当日のスケジュール

10:00	開会
10:05	スケジュール説明・ふりかえり・テーマ発表
10:25	チーム分け
10:30	イントロ（川西クイズ）
10:35	テーブルワークの説明・事例紹介
10:40	テーブルワーク（活動案の検討）
12:00	閉会

スケジュール説明～チーム分け

当日スケジュールの説明があった後、第1回カフェで共有した重要な地域課題と取組を分析した傾向から導き出された3つのテーマ案の発表がありました。内容は、地域コミュニティに関するもの、まちの活性化に関するものでした。これらをもとに、具体的な活動案を検討していくことになりました。

その後、参加者は話し合っていたテーマのテーブルにそれぞれ移動しました。

テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、牧の台小地域の状況に関するクイズが3問出題されました。



第1回カフェの共有結果から分析した傾向

- 高齢者支援に関しては、課題と取組ともに重要度が高い！
- 地域のつながり・交流に関しては、取組で特に重要度が高くなっている
- 買い物の利便性など、生活環境に関しては、課題で特に重要度が高い

決定したテーマ

- Aグループ：誰もが交流できるまちにする
- Bグループ：地域でともに支え合うまちにする
- Cグループ：活気のあるまちにする

Aグループの概要

◎誰もが交流できるまちにする

- ⇒ あいさつや声かけ運動をする
- ⇒ 高齢者の体験談を子どもに話す
- ⇒ その他
 - ・ 公園を活用する
 - ・ 子どもが企画する地域イベントの実施
 - ・ 地域の居場所づくり（コミュニティカフェ）など

Bグループの概要

◎地域でともに支え合うまちにする

- ⇒ 大和チケットの利用を広める
- ⇒ 地域活動に若い人を呼び込む
- ⇒ その他
 - ・ 自治会加入率アップの取組
 - ・ 民生委員のサポーター制度をつくる
 - ・ 団塊世代のスキルを活用する など

Cグループの概要

◎活気のあるまちにする

- ⇒ 商店街の活性化
- ⇒ 若者のたまり場をつくる
- ⇒ その他
 - ・ 空きスペースを有効活用したイベントの実施
 - ・ コミュニティビジネスの実施 など

テーブルワーク

3グループに分かれ、はじめにファシリテーターから、テーマに即した事例紹介がありました。その後、活動メニューから検討をはじめ、メニューがある程度決まったグループは、活動をより具体的に話す話し合いを進めました。どのグループも、閉会時間ギリギリまで活発な議論が行われました。



◎各グループの主な意見

Aグループ：誰もが交流できるまちにする

●あいさつ運動をする

- ・あいさつは基本 ・あいさつはうれしい!! ・続けることが大事 ・大人同士であいさつすると緊張する
- ・女性はあいさつを返してくれる（男性は2割返ってこない） ・あいさつを意識するときが必要
- ・声かけする人だとみられるとあいさつしやすい ・1日5人にあいさつする ・あいさつ day やあいさつ週間
- ・あいさつ運動に参加するとシールがもらえる ・みんなが知っていることが大事! ・みんなで作るなど

●あいさつのしやすさ

- ・のぼり旗をあげる ・地域にいるデザイナーさんに、パトロール用のバンダナや腕章をデザインしてもらうなど

Bグループ：地域でともに支え合うまちにする

●大和チケットを活用する

◆取り組む順番 ①まずは使ってみよう! ②定期的な見直し ③使い方のルールづくり

- ◆課題と対策 ・若い世代は知らない → 事例集があるとよい ・ネットで配信、検索
- ・使い方がわからない → データベースづくり ・誰がチケットをもっているか、知っているか
- ・換金は年1回（忘れてしまう...）→換金システムの見直しなど

◆今後考えていきたい

- ・プロがする仕事、住民ができる仕事 ・バステチケット、タクシーチケット⇒大和チケットなど

Cグループ：活気のあるまちにする

●まちの活性化の取組を考えよう

- ・まずは地域でものを買うこと ・いくつかまとめて宅配するボランティアグループがあってもよい
- ・外からひとを呼ぶ ・売の方も買う方も駅前が良い ・やる人を集めること ・やる人を広げること
- ・空き店舗、若い世代が集える場所 ・若い世代のニーズをしっかりとつかまえる ・地域と連携、ケーキ教室
- ・商店会と地域の団体の連携、地域のイベントへ ・お店でやっているみなさんの知識・技術をいかす
- ・季節ごとの商売、野菜×鮮魚、鍋セット ・“ひいき”にするつながりなど

